

ふれあい

No.217

ふれあいネットワーク



新十津川町社会福祉協議会 会長 佐川 純

新年のごあいさつ

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
旧年中は、本会の各種福祉事業および運営にあたり、格別のご支援とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

依然として終息の兆しが見えない新型コロナウイルス、ロシアによるウクライナ侵攻などの影響による世界規模での燃料、資源価格の高騰、円安の進行による物価上昇などが我々の生活を脅かしている中、先行きが見通せないこの不確実な状況に、皆さんそれぞれ大小の差はあれど、不安や悩みを抱えていることと存じます。本会では、生活資金にお困りの方に対する福祉資金、生活福祉資金の相談、資金貸付、日常生活のあらゆる相談に応じ、関係機関や専門家への橋渡しを行う、心配ごと相談所の開設など、町民の皆さんに寄り添いながら、福祉事業を展開しています。

本会の昨年を顧みますと、改修を終え、「教育」「福祉」の新たな拠点として生まれ変わった農村環境改善センターへ昨年十月に事務所を移し、同月十五日にはリニューアールオーブンセレモニーと併せ、福祉フェア（福祉のつどい）を開催し、関係団体や事業所をはじめ、多くの町民の皆さんにお越しいただきました。

さて、本会では本年四月より、新十津川町農村環境改善センターの指定管理者として、当該施設の管理を行うこととなりました。

農村環境改善センターは、「学び、成長し、交流できる教育空間」「地域共生社会の実現を实践する福祉空間」と、大きく二つの役割を担う複合拠点施設であり、地域活動やサロン活動が効果的かつ計画的に展開されるよう、集い憩いの場として広く活用いただけるよう、社会教育と地域福祉が横断的に補完・連携しながら、各種事業を実施いたします。

また、町より地域包括支援センターの運営を受託することが決定し、これまで本会が担ってきた高齢者および障がい者の在宅生活支援サービスに加え、高齢者に関する困りごとや相談を総合的に受け付け、高い専門性により、介護保険サービス、行政や医療機関などの垣根を越えて、サービスや制度につなげる地域包括ケアシステム構築の中核としての役割を担うこととなります。昨年策定した第二期地域福祉実践計画との整合性を図りながら、基本理念に掲げる「一人ひとりが安心して暮らして、みんなで支えあうまちづくり」に向け、地域共生社会の実現を見据えた事業を展開して参りますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年が町民の皆さんにとりまして希望に満ちた心穏やかな一年になりますよう、役員を代表し、ご祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

北海道コカ・コーラ ボトリング株式会社から クリスマスプレゼント



12月9日、北海道コカ・コーラボトリング株式会社から町内の福祉施設及び事業所にコカ・コーラ社製品300本（12ケース）が寄贈されました。

同社では、昭和43年から地域に対する社会貢献の環として、炭酸飲料やスポーツ飲料などを道内の福祉施設へ毎年寄贈しており、今回で55回を数えます。寄贈累計は、360万本を超えています。

寄贈いただいた飲料水は、一足早いクリスマスプレゼントとして、町内福祉施設や地域活動支援センターあざれあ工房などに配らせていただきました。ありがとうございます。



第17回 赤い羽根共同募金チャリティーカラオケ

12月11日、ゆめりあ生きがいホールで第17回赤い羽根チャリティーカラオケが開催されました。

当日は、17組の出演者によるカラオケが披露され、チャリティーカラオケを盛り上げてくれました。

チャリティーカラオケでの収益は、必要経費を除き、全てを赤い羽根共同募金とさせていただきます。ご出演・ご来場いただいた皆さん、ありがとうございました。

赤い羽根共同募金チャリティーカラオケ収入

入場券(前売り) 99,000円(198枚)
 入場券(当日) 17,400円(29枚)
 会場募金箱 4,817円

121,217円



第10即応機動連隊
第2普通科中隊長
前原 勝志



公募枠
原田 あい



新十津川町議会
経済文教常任委員長
鈴木 康裕



総進区代表
高橋 弘



新十津川町
副町長
小林 透



みどり区代表
和田 晴子



道社協空知地区
事務所所長
吉田 康弘



民生児童委員協議会
上家 照代



公募枠
荒山 忠・五十嵐政吉



菊水区代表
西川 和美



文京区代表
山本 恭男



新十津川町観光協会
会長
白石 昇



青葉区代表
寺田 美津子



中央区代表
中野 清



ピンタカラオケ部会
副会長
齊藤信吾・白田民子



公募枠
佐藤 絹子



花月区代表
吉田 正次





おもいやりも、
びとび。

職員募集

令和5年度に採用する地域包括支援センター職員を募集します。

| | |
|-------|--|
| 募集職種 | 社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員 |
| 職務内容 | 地域包括支援センター業務(総合相談、介護予防業務、権利擁護など) |
| 雇用形態 | 正職員 |
| 受験資格 | 昭和63年4月2日以降に生まれた方で、学校教育法に基づく高等学校以上を卒業し、社会福祉士または保健師、もしくは主任介護支援専門員の資格を有する方 |
| 採用予定 | 1人 |
| 勤務地 | 社会福祉法人 新十津川町社会福祉協議会 (樺戸郡新十津川町字中央306番地3 農村環境改善センター) |
| 勤務時間 | 平日8時45分～17時30分(休憩60分) |
| 休日・休暇 | 土日祝日、年末年始(12月31日～1月5日) その他、年次有給休暇、特別休暇、介護休暇、育児休業などの制度あり |
| 給与等 | 本会規定による(保有資格、職歴等の経験年数により決定) |
| 加入保険 | 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険 |
| 応募方法 | 履歴書、職務経歴書、資格証明書(写)を郵送もしくは持参 |
| 受付期間 | 令和5年1月10日(火)～1月31日(火) |
| 試験日 | 別途通知 |
| 選考方法 | 書類選考・面接試験 |



10月15日(土)、改善センターを会場に令和4年度福祉フェアを開催しました。福祉フェアの開催に先立って、農村環境改善センターのリニューアルオープンセレモニーが執り行われ、熊田町長らによるテープカットが行われました。

今年度の福祉フェアは、改修され新しくなった改善センターを町民の皆さんに見ていただき、親しみを持ってもらうこと、「見て・触れて・買って」福祉やボランティアを身近に感じ、興味や関心を持ってもらうことなどを目的に開催しました。福祉フェアの中では、ピンバッジデザインコンクールの表彰式、小中学生による福祉作文コンクール入賞者の表彰と作文発表のほか、アトラクションとして新十津川中学校吹奏楽部による演奏があり、来場者を楽しませてくれました。

令和4年度福祉フェアを開催しました

また、協賛団体10団体による活動PRや製品販売、介護ロボット・福祉用具の展示と体験コーナーも改善センター内に設けられ、来場者の皆さんが福祉やボランティア活動を知る、考えるきっかけとなりました。

同時開催として、改善センター前の北中央公園では、第5回しんとつかわマルシェも開催され、たくさんの方で賑わいました。



スマホ教室・ICT体験会を開催します

日常生活の中で、スマホやICTの活用が子どもから高齢者まで必須になってきていることから、スマホの保有者・未保有者関係なく、スマホやICTに触れることができる「スマホ・ICT教室」を改善センターで開催します。スマホの設定方法や操作方法について、社協職員がレクチャーを行うほか、社協が保有するタブレット端末やパソコンを使用して、ビデオ通話の体験や動画の視聴体験などを行います。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、事前に電話による参加予約をお願いします。

▽日時 令和5年2月10日(金)10時から12時まで

▽場所 農村環境改善センター

▽受付数 10名

▽参加費 無料(コーヒーを二杯、サービスします。)

▽予約 新十津川町社会福祉協議会 ☎76・2600

▽その他 契約変更や課金などを必要とする設定変更などはできません。

- ・スマホをお持ちの方は、スマホをお持ちください。
- ・予約の際、聞いてみたい設定・操作方法などがあればお伝えください。



クリスマスツリー設置とクリスマス製品の販売

地域活動支援センターあざれあ工房で、11月25日から12月25日までの一カ月間、新十津川町役場庁舎ロビーに、あざれあ工房利用者が飾り付けを行ったクリスマスツリーを設置し、合わせてあざれあ工房で製作したリースなどのクリスマス製品の販売を行いました。

あざれあ工房では、クリスマス製品のほかにも、季節や年中行事に合わせて使える製品や刺繍タオルやポーチなど、手芸品を販売しています。ゆめりあをはじめ、サンヒルズ・サライ、グリーンパーク、物産館で販売していますので、お立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



ご厚情感謝申し上げます

●社会福祉協議会へ

- ◆ 理焔数行さん(橋本) 5万円
- ◆ 故敏子様生前のお礼 5万円
- ◆ 神田 敦さん(橋本) 20万円
- ◆ 故幸子様生前のお礼 3万円
- ◆ 村中美さん(中央) 3万円
- ◆ 社会福祉資金として
- ◆ カラオケ「和楽会」 1万円
- ◆ 社会福祉資金として
- ◆ 林 富子さん(花月) 3万円
- ◆ 故正男様生前のお礼 3万円
- ◆ 古木敬人さん(中央) 3万円
- ◆ 故君枝様生前のお礼 5万円
- ◆ 西野一雄さん(学園) 5万円
- ◆ 故末廣様生前のお礼 30万円
- ◆ 小畑人士さん(札幌市)
- ◆ 小畑力也さん(滝川市)
- ◆ 故静様生前のお礼



社会福祉協議会ホームページ



あざれあ工房Instagram

新十津川町社協広報「ふれあい」は赤い羽根共同募金の助成を受け、発行しています。